

輸出事業計画

※申請者名：櫻正宗株式会社、品目：清酒

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- 市場拡大: 2024年清酒輸出額435億円（過去最高水準）。政府目標760億円(2030年)に向け追い風。
- 自社実績: 26カ国に約18,668千円(R4)。関西空港免税店でも好調。
- 新ニーズ: 欧米市場より「有機清酒」「高品質吟醸酒」の引き合い増。

【課題】

- 製造能力 既存冷却設備の能力不足により、増産時（特に夏季）の精密な温度管理が困難。品質劣化リスクあり。
- 認証適合 設備の予知保全機能不足。FSSC22000更新維持が困難な状況。
- 機会損失 有機JAS未取得のため、高付加価値な欧米市場へ参入不可。

2. 輸出事業計画の取組内容

① 設備投資による製造基盤強化

最新鋭冷却設備「NewTon B」の導入: 冷却能力を40.4t追加増強（ISO/TS22000-1（6.1項『ユーティリティー 一般要求事項』）し、夏季醸造における精密な温度管理（±0.5℃）を実現。品質劣化を防ぐ。

FSSC22000適合: 24時間遠隔監視システムにより、ISO/TS22002-1（8.6項 予防保全）に完全適合し、認証維持を確実にする。

② 商流開拓・付加価値向上（ソフト事業）

展示会出展による販路拡大: FOODEX等の国際展示会へ積極的に出展し、欧米の新規バイヤーとの商流を開拓する。

有機JAS認証取得: 令和9年度に取得予定。欧米市場で需要の高い「オーガニック清酒」としてブランド価値を向上させる。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

JETRO等

輸出先国の概況把握及
び販売先・展示会の紹介

櫻正宗株式会社

外部コンサル

FSSC22000認証等衛生管理に対する助言、
有機JAS認証の助言

P（計画）：現地拠点からのニーズ把握・現地情報や、外部専門家による助言に基づき、輸出事業計画を検討

D（実行）：計画に基づき、海外拠点に輸出を実施

C（評価）：輸出の進捗状況について、現地拠点や取引先からの意見で把握した販売状況等の評価等を踏まえ、必要に応じて計画を見直し

A（改善）：上記尾フィードバック等を通じて現地消費者の求める商品改善に着手

4. 輸出目標額

		【現状】 R7.3月期	【目標】R13.3月期
清酒	輸出額（千円）	4,276	34,153
	輸出量（L）	2,573	19,978
	輸出先国	シンガポール、オーストラリア、中国	シンガポール、オーストラリア、中国、フランス、アメリカ

		【現状】 R7.3月期	【目標】R13.3月期
清酒（有機JAS）	輸出額（千円）	0	8,000
	輸出量（L）	0	4,744
	輸出先国	-	シンガポール、オーストラリア、フランス、アメリカ